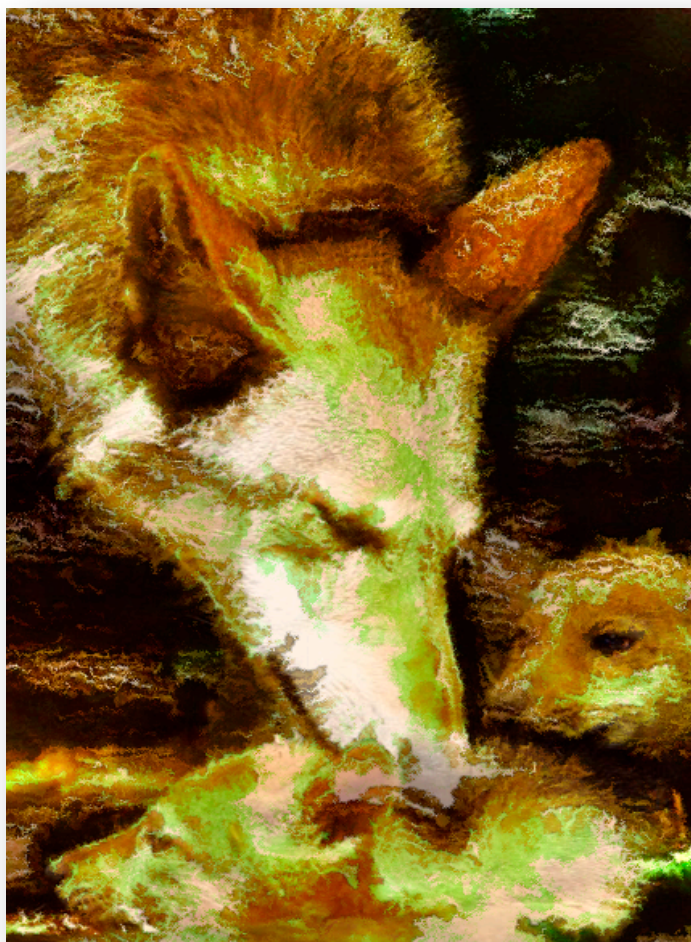


狼を探す：

私たちの中の獣を探検する

私たちの心の中にひとりぼっちの狼が
夜のとばりの中で遠吠えをしている。
どこか、私たちの中に潜む野生の中で
飢えた狼が足跡をたどっていく。
視野の範囲を越えて私たちの存在を
嗅ぎつけて、暗いオパール目で
私たちを見つめている。
人々は心の中に潜む獣から逃げようとして、
それらの熱き野生に直面することを恐れている。
原始の自分から脱出することは難しい
飼いならされた狼となってすべてを失う。

迷信によると狼の魂をもつ者は
老人や子供の血を好み、
ひよこや羊をご馳走とするという。
伝説によると狼の魂をもつ者は
戦闘的な面と逃げ足の早い両面をもつという
原始的な感動だけを感じるとはいえ
時折見る雪上の狐高の狼のどく姿の美的な感動
雌狼のおぼえのわめき声の反響の詩的な感動
我々の最も恐怖している生き物は実際は存在せず、
我々の恐怖している生き物は我々の内なる一部だ
と思い出させる。



クリス： 私たちの心の中に住む獣をどうすればいいだろう？ その問題は、誰もが答えを捜し求めていることであり、また人間が直面しなければならないことだ。

テリー： 伝統的な方法には、怪物を抹殺することです：人の心に潜むミノタウロス、オオカミ龍を。

クリス： 私は、それが賢明なことなのかよく分からない。それより、それらと共存したほうがいいのではないですか？

ティム： (溜息をつく) ああ、でも君は、何かを忘れてている：すべての獣が、平和共存の仕方が分かっているわけではない。もしあなたの中の獣たちを殺すことができなければ、少なくとも防護壁を作る必要があります。獣のようにではなく、人間らしくいる努力をしよう。

- T Newfields (和訳：神谷卓代)

開始：1994年 静岡市・完成：2017年 横浜

